

あいあい

2021年 7月

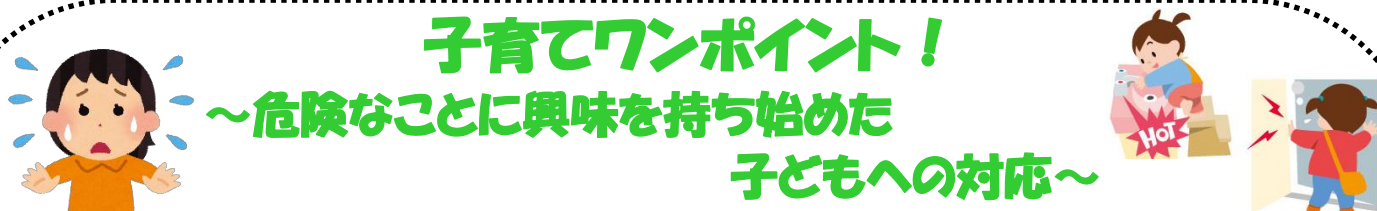
対象：0歳～6歳（未就園児）もしくは出産前のご家庭

～みなさんの子育てを応援しています～

雨の合間の晴れた日には、夏の日差しが降り注ぐようになりました。気温の高い日は、子どもはもちろんのこと保護者の方も水分補給を忘れずに、熱中症に気を付けながら、元気に過ごして行きましょう。

新型コロナウイルス感染防止のため、本来ならば稲荷砂川保育園で毎日開催しています「あいあいひろば」はお休みをさせて頂いておりますが、困ったことがあればいつでもご相談下さい。お電話にて対応させていただきます。

新型コロナウイルスの感染が早く収まり「あいあいひろば」で早く皆様とお会いできることを祈っています。



机の上に乗る・物を投げる・引き出しを開け閉めする等…怪我に繋がることに興味が出始めると、制止や注意の声掛けが増えてしまいますね。「また、同じことをして…」「どうせ言ってもわからないか…」と、注意しても意味がないように感じてしまうこともあるかと思えます。

では、危険な物や行動に興味を持ち始めた子どもに対して、大人はどう関わるとよいでしょうか。

大人はなぜ危険なのか予想ができる為、「あぶない！」とその場の行動を止めることに気持ちが行ってしまいますが、子どもにとってはどうして危険なのか、イメージすることが難しく、やりたかった行動を制止されたストレスだけが残ってしまう状況となります。

そのため、「やりたかった！」気持ちの部分を受け止めた上で、どうして危険なのかを我が子にわかりやすい言葉やジェスチャー等を使い、短い時間で端的にお顔を見て伝えてあげましょう。同じことを繰り返した時は、周りの大人も統一して同じように繰り返し伝えてあげると伝わりやすいです。

ダラダラと一方的な言葉で伝えたり、注意ばかりになったりすると、叱られる時間も関わってもらえていると勘違いし、喜んでしまう子どももいるため、短くあっさり伝えることがポイントです。

毎日生活していると、つい危険な行動に目が向きがちになりますが、正しく使えているプラスの姿をたくさん見つけて、「今の使い方、嬉しかったな！」等、怪我なく安全に過ごせたことを親子で共感し合ってみるのも良いかもしれません。普段何気なく出来ているプラスの姿に目を向けるよう意識することで、子どもの成長にたくさん出会うことができ、親子共に嬉しい気持ちになりますね。

いつか大きくなった時、自分の身は自分で守れる子どもになってくれることを願い、今は親子で沢山コミュニケーションを取りながら危険な物や行動について伝えていけるといいですね。



社会福祉法人稲荷保育園

稲荷砂川保育園

〒612-0008

京都市伏見区深草六反田町4-7

TEL 075-561-1096

FAX 075-561-8905

★あいあい通信は稲荷砂川保育園のホームページ

<https://inasunahoikuen.jp/>の「地域子育て支援」のページにも掲載されています。

